仙台市太白山自然観察の森情報誌 2014年 10月号 No.277

クサギの実 (シソ科)



※ 従来はクマツヅラ科に分類されていたが現在はシソ科に移されている。

写真:黒川周子(レンジャー)

10月に入り森は本格的な秋の装いとなり、いろいろなキノコやクリなどの秋の恵みでいっぱいです。しかし、残念ながら観察の森ではすべて採取禁止とさせていただいております。これも自然のバランスを崩さないためとご理解の上、豊かな森の秋を感じながら楽しんでいただければと思っております。 (館長 菊池正行) 観察の森 生き物図鑑

# 幼虫や繭にも名前があるよ クスサン (楠蚕)



78

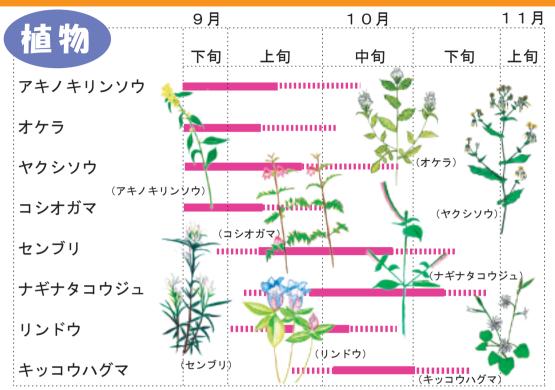
9月はヤママユの成虫を見ることができました。10月はクスサン、11月はウスタビガです。ヤママユガの仲間は似ていますが、でてくる時期がずれていることと、模様が若干違っていることで見分けられます。どの成虫もオスには大きな触覚がみられ、オス、メスともに口らな触覚がみられ、オス、メスともに口らいまきられるのでしょうか。





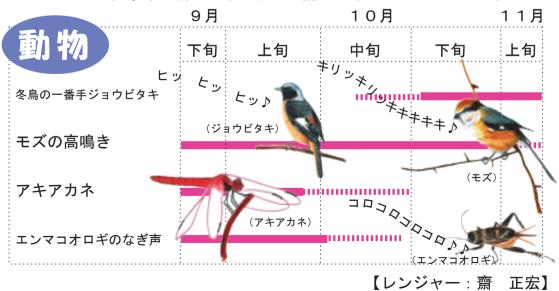
- \* 観察の森で見られるクスサンに似ている仲間は、他にも「ヒメヤママユ」がいます。
- \*幼虫は昔、釣り糸テグスを作るのに用いられました。
- \*♂=オス ♀=メス

## 10月の生物ごよみ



実りの秋がまたやってきました。太白山では2年ぶりにドングリが大豊 作。森にはたくさんのドングリが落ちています。

いつもならお彼岸が終わってから咲くヒガンバナも今年はその時期に咲いていました。季節の流れが早く、冬の訪れも早いかもしれません。



# 森で見つけた! 今月のはっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、 ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

### はっけんメモ その5『きのこってどんなこ?』

きのこは年中森の中で見られますが、松茸やきのこ狩りなど秋のイメージが強いですよね。ということで、今回は身近だけれど謎多き**"きのこ**"に着目してみます。

## **── きのこは生き物?**

\*\*きのこは菌類に属する生物です。つくしやワラビなどのシダ植物と同じように胞子を飛ばして子孫を増やしています。私たちが目にするいわゆる"きのこ"は植物で言うと"花"のような役割をしている"子実体"と呼ばれている部分で、菌糸のほんの一部分でしかありません。地面の下や朽木の中に菌糸を張り巡らし生活しています。菌糸を広大に広げることから、地球上で最大の生物と言われることもあります。

#### 📅 きのこの形の秘密

きのこは胞子を沢山生産し、飛ばすために都合の良い形をしています。 傘の裏にあるヒダや管孔(スポンジのような小さなあな)などで、胞子を生産 する表面積を広げています。傘のないきのこもそれぞれ工夫があります。



傘の裏は目の細かいスポンジ のよう。その穴の表面で胞子 を生産、散布する。



老菌の頭に何かがふれると 表面にある穴から胞子が吹きだす

#### ホコリタケの仲間

小さなボールの中で胞子を 生産中。成熟すると表面にで きた穴から胞子が旅立つ。



胞子は主に風によって 運ばれる

#### ホウキタケの仲間

ひょろひょろ。 地面からイソギンチャク みたいなものが! 枝の部分から胞子を飛ばす タイプの形。



傘の裏はシイタケのような ヒダ状。ヒダの表面で胞子 を生産、散布している。



胞子は虫に運ばれる

サルノコシカケ科 **ヒトクチタケ** 

丸い栗まんじゅうのような形、 内側の上部にはヒダがある。 虫が集まる匂いを出し、中に 入った虫に胞子を運搬させる。

#### サルノコシカケ科





スポンジ状の穴がある。

#### きのこの大事な役割

\*きのこは森の中でとても重要な役目を持っています。それは落ち葉や枯れ木などの森の中で不要になったものを栄養たっぷりの土に戻すリサイクル屋さん。落ち葉や枯れ木がいつの間にかふかふかの土になっているのは"きのこ"のおかげ(ミミズやダンゴムシなどの小動物も有機物を分解している)。菌類も自然の循環の中になくてはならない存在なのですね。 【レンジャー:河合 遥】



# 新人レンジャーの巡回日記



この頃の自然観察の森では、心地よい秋風が吹き、コオロギや鈴虫等、 いろいろな虫の鳴き声や野菊、ゲンノショウコの花等を楽しみながら歩 くことができます。その他に、見るだけで秋を感じることができるキノ コがたくさんあることにびっくりしました。そこで、今回は、森の中で 観られるキノコで特に気になったものについてご紹介します。





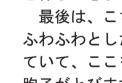
タマゴタケ

この赤くてきれいなキノコは、タマゴタケと言いま す。出たばかりの時は、赤色が強く、とても可愛らし い形をしています。大きくなっても、形や色がとても きれいなので、見つけるとうれしくなります。このキ ノコは、根元にタマゴの殻のような「つぼ」があるの が特徴です。



カラカサタケ

続いては、カラカサタケと言うキノコです。出てき たばかりのものは、太鼓の鉢のような形をしています が、大きくなると、傘を大きく広げ、背丈もひょろっ と伸びてきます。形が全く変わるので、びっくりです。



ホコリタケ

最後は、こちら。表面は、トゲがたくさんですが、 ふわふわとした感じのキノコです。頭の所に穴が開い ていて、ここを軽く叩いたりすると、ほこりのような 胞子がとびます。このキノコはホコリタケと言います。

※この他にも、たくさんの種類のキノコを観ることができ ますが、園内のキノコの採取は禁止になっております。また、 毒性の強いものもありますので、注意して観察してくださ い。





9月13日(土)に「虫むしめっけ♪」のイベントが行われました。今回は、 未就学児のお子さんと家族の方を対象にして、秋の虫を探しながら森 の中を歩きました。エンマコオロギやヒメクサキリ、マダラスズやシ バスズ等、自分でつかまえた大小の虫たちを観察用の瓶に入れて、顔 や体等、虫の特徴をじっくりと観察していました。

※イベントによっては、申し込みが必要です。詳しくは、イベントの お知らせの覧でご確認下さい。

【レンジャー: 隆 千尋】



- ◆「きのこ観察会』 10月11日 (土) 10:00~11:30
- 講師と共に、秋の森に生えるきのこを観察します。

【定 員】20名

【持ち物】歩きやすい服装、雨天時は雨具

【申込み】10月7日(火)午前9時から雷話で受付「先着〕



秋の色に染まった太白山を、自然観察をしながらゆっくり登ります。

【定員】20名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、昼食、飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】10月10日(金)午前9時から電話で受付〔先着〕

◆「森であそぼう!小さな野草教室♪」11月8日(土)10:00~11:30

・未就学児とその保護者向けの植物観察会です。身近な草花で楽しくあそぼう!

【定 員】20名(未就学児とその保護者)

【持ち物】歩きやすい服装、飲み物、雨天時は雨具

【申込み】10月18日(土)午前9時から電話で受付〔先着〕



#### 毎凋 日曜は

## 『ガイドウォーク』の日!

10月の開催日は 5日、12日、19日、26日です。 開催時間:午前 10:00~11:30

午後 13:30~15:00

○26日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。 申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



里山や自然に関するものを 描いて(書いて)ね! レンジャーからのプレゼント があるよっ!



#### 10月の休館日

5日、14日、 20 日、27 日

#### ♪森へおいでください♪

🖚 宮城交通バスの場合 ー 仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から 山田自由ケ丘車庫 行きに乗り 公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ 道々の案内板に従って約10分で駐車場へ、徒歩5分でセンタ



スタッフBLOG開始しました! 自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」 バックナンバーはWebでチェック!

「杜のひろば」URL:http://www.sendai-park.or.jp/ web/info/taihakusan/index.html 2014年10月号(毎月1回5日発行)

発 行:(公財)仙台市公園緑地協会

編 集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター 〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail:taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp